

車内熱中症に注意！子どもやペットを取り残したままのキー閉じこみ 今年の8月は1ヶ月で99件！

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 坂口正芳）はお盆期間直前である8月4日（水）に今年の8月1カ月間に出勤した“子どもやペットを車内に取り残されたままのキー閉じこみ”の件数を公表し、車内熱中症事故予防を啓発しています。

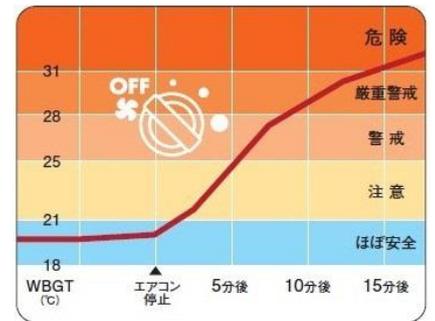
■子どもやペットが車内に取り残されたキー閉じこみ、昨年8月の約1ヶ月で約100件

2021年8月1日（日）～8月31日（火）の1カ月間、JAFが出勤した「キー閉じこみ」の救援のうち、子どもやペットが車内に取り残されたままであったケースは全国で99件（子ども：63件、ペット：36件）ありました。このうち、生命に危険を及ぼす影響が高いと判断されたものは、通常の開錠作業ではなくドアガラスを割るなどしたケースも9件ありました。また、現場での聞き取り調査によると、「子どもに鍵を持たせていたら、ロックボタンを押してしまった」「ペット（犬）が前足でドアのロックボタンを踏んでしまった。」という内容もありました。

■わずか15分で危険レベルに！？

夏は車内に子どもを残すことはぜったいにやめましょう

JAFが実施した車内温度の検証テストによると、気温 35℃の炎天下に駐車した車内の暑さ指数は、窓を閉め切った状態でエンジン停止後、わずか15分で人体にとって危険なレベルに達しました。また、車を日陰に駐車していたとしてもその車内温度の差はわずか約7度で、駐車場所に関わらず外気温が高温である場合は注意が必要です。



暑さ指数 (WBGT) の推移

▼参考：JAFユーザーテスト

- ・車内温度/夏：<https://jaf.or.jp/common/safety-drive/car-learning/user-test/temperature/summer>
- ・「日なた」と「日陰」の車内温度：<https://www.youtube.com/watch?v=0KiUCm-1B6k>

JAFでは2021年より日本気象協会推進「熱中症ゼロへ」プロジェクトの協力団体として、熱中症防止を啓発しています。熱中症ゼロへ公式サイト「熱中症、こんな人は特に注意！車に乗る人」ページ内にてJAFの情報とともに帝京大学医学部教授三宅康史先生による解説が掲載されております。

三宅康史先生によると、

子どもは体が小さく、環境に特に影響されやすいのです。同じ暑い環境でも、体が小さい方が熱の影響を受けて、先に体温が上がってしまうため、特に注意が必要です。さらに、子どもは暑さの影響を受けやすいにもかかわらず、自分で不調を訴えたり、水分を補給したり、環境を変えたりすることが難しいので、保護者が気を付ける必要があります。寝ているから、短時間だからといって、子どもやペットを車に置き去りにするのは大変危険です。直射日光が当たる場合はもちろん、日かげでも車内温度は上昇します。特に乳幼児は自分で行動することができません。保護者は責任を持って、車に置き去りにしないようにしましょう。

▼出典：熱中症ゼロへ公式サイト「熱中症、こんな人は特に注意！車に乗る人」

<https://www.netsuzero.jp/learning/le16>

一般社団法人 日本自動車連盟 広報課

Tel : 03(3578)4920 Fax : 03(3578)4912 Mail : koho@o3.jaf.or.jp URL : <https://jaf.or.jp/>
 〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館